



つくば市の概要



- ・面積 283.72km² (東西:14.9km 南北:30.4km)
- ・人口 235,709人
(H30.5.1 常住人口・・・平成35年まで人口増の見込み)
- ・水戸・東京から約50km(秋葉原駅からTXで45分)

昭和38年 研究学園都市として閣議了解

昭和60年 EXPO'85国際科学技術博覧会開催

昭和62年 3町1村が合併『つくば市』誕生

(昭和63年:筑波町、平成14年:荃崎町を編入→6町村合併)

平成19年 市制20周年[人口20万人超え(特例市移行)]

平成29年 市制30周年[人口23万人超え]



技術・知見・国際の集積

大学・研究機関の集積による
革新的な技術・知見・国際性



田園都市

筑波山に代表される豊かな
「自然環境」と「都市環境」とが
調和する田園都市



新しいまちづくり

つくばエクスプレスの沿線での
新しいまちづくり

つくばエクスプレス沿線開発地区

市街化区域

面積:5,347ha
(18.8%)

市街化調整区域

面積:23,025ha
(81.2%)

全体図



TX沿線のまちづくり



筑波研究学園地区(中心市街地)

市街化区域

面積:5,347ha
(18.8%)

市街化調整区域

面積:23,025ha
(81.2%)

全体図



中心市街地のまちづくり



周辺市街地の現状・課題①

TX沿線開発地区・研究学園地区

- ・子育て・ファミリー世代を中心に人口定着
- ・市全体の人口としては増加傾向



○町村合併前に形成された8市街地
(周辺市街地:北条・小田・大曾根・吉沼・
上郷・谷田部・栄・高見原)

- ・買物・医療などの日常生活への支障
- ・コミュニティ維持(難化)
- ・若者流出に伴う活力低下
などの課題が顕在化



周辺市街地の現状・課題②

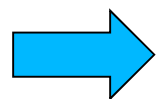
【参考データ(国勢調査及び社人研推計)】

〔人口増減率〕

- ・研究学園地区・TX沿線地区 H22→H27(14%) H27→H47(48%)
- ・地域拠点市街地(例:北条市街地) H22→H27(-6%) H27→H47(-52%)

〔高齢化率〕

- ・研究学園地区・TX沿線地区 H22(5.6%)→H27(7.2%)→H47(24.1%)
- ・地域拠点市街地(例:北条市街地) H22(31.9%)→H27(37.9%)→H47(50.9%)



平成29年度に周辺市街地振興室を設置

- ①周辺市街地の住み良い環境の実現に向け、地域振興策等を検討
- ②継続的な地域振興の具体化に向け、地域主体のまちづくりを支援

◎現状把握・課題等抽出

- A 各種社会統計データ(人口・高齢化率・世帯数・等々)
- B 様々な分野で地域を盛り上げようと精力的に活動している市民(市民意向の把握)
- C 歴史や伝統、文化をはじめとする優れた地域特性や資源(ヒト・モノ・コト)



事業内容及び結果①

周辺市街地振興勉強会（第1回小田市街地：資源の洗い出し等）



《意見例》

【方向性に係る全体意見等】

- 小田地域の「色」や「夢」を頭に置きながら少しずつ小田の地域づくりを考えていくことも大切。
- 回を重ねて少しずつ連携を深めていき、将来的に小田地域全体で面として考えられるようにしたい。
- 将来的には筑波地区全体で捉えて、小田と北条とのつながりなどを考えていくことも重要。
- 地域ができることから外に見える形で発信し、小田を知ってもらえるようにしていきたい。
- 他の地域にも波及できる成功事例となる取り組みが出てくると良い。

【個別具体的な意見等(改善点やアイデア等)】

- りんりんロードを活用し、サイクリストがお金を落とす仕組みを考えていくことが必要である。
- 小田小学校跡地を宝篋山への観光客やサイクリストなどが立ち寄れるような場所にしてはどうか。
- 現状では地域に利益が生まれなため、宝篋山に来る観光客がまちに流れてくるようにする工夫や雇用が生まれ、地域の若い人が生計を立てられるといった長期的な視点も必要である。

事業内容及び結果②

周辺市街地振興勉強会（第1回小田市街地：事例研究）



《意見例》

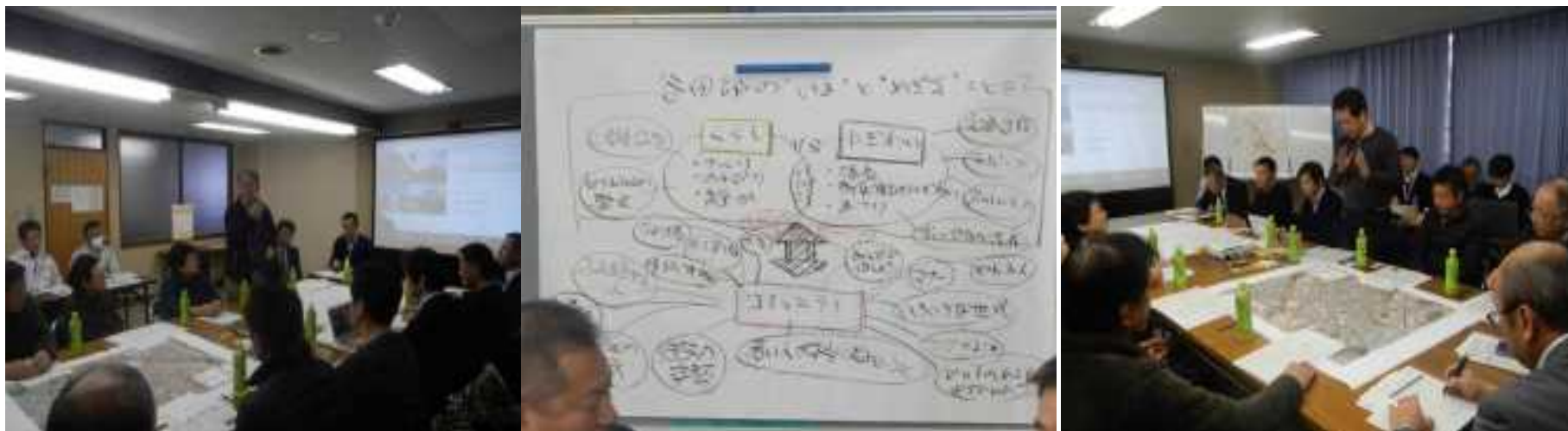
「廃校活用」：まちの中の良い資源を地域自体が大切にしている点（地元が組織を作り、活動し、それを行政やその他の組織が支援するという運営スタイルが良い。また、行政任せではないところの財政的側面等）

「駅前商店街」：①人の減少と空き家対策を多面的に行っている点
：②地域が新しい人・考え方を受け入れ、混ざり合っている点
（小田でも新たな若い世代を受け入れることで活性化等の可能性が広がる）

「NPOのまちづくり」：客観視しながら、地域のたくさんの資源や魅力を上手く活かそうとする考えをもった人がいる点。
（地域が外部の人間を受け入れる体制を取れるかどうか。また同じ目的意識を持ったメンバーがいるかどうか重要）

事業内容及び結果③

周辺市街地振興勉強会（第1回谷田部市街地：資源の洗い出し等）



《意見例(参考)》

【方向性に係る全体意見等】

○子どもから高齢者まで「今」居住している人にとって、地域との繋がりを感じられる必要がある。

- ・そのためには、地域に居住している方々のコミュニティの醸成が重要である。
- ・そのきっかけとして、人々が集まる場所をつくることから始められると良いと考える。

○方向性を決めていく上では、以下の視点を持って検討すべきである。

- ・谷田部に住み、子育てをして良かったと思える若い方々の未来を想像すること。
- ・子どもたちに「ふるさと谷田部」や「自慢タウン」といった愛着心を意識させること。

【個別具体的な意見等(改善点やアイデア等)】

○谷田部市街地の活性化に向けてマイナースポーツの全国大会などが誘致できると効果的ではないか。

○五角堂や飯塚伊賀七など、歴史的資源を再認識し、活用していく視点が必要。

○谷田部オータムフェアの際には、千歳通りの秋祭りとふれあい広場のイベントを結ぶ工夫が必要。

○昔のように賑わい、常に祭りをやって活気のある商店街を取り戻すべきなのだろうか。

事業内容及び結果④

市街地カルテデータ集-1

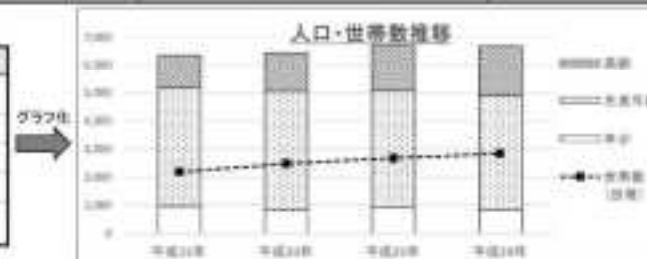
谷田部市街地カルテ(データ集) (H30.3.16時点)

【現在の人口・世帯等】 (※平成29年4月1日時点)

人口 (人)	種別人口			年齢階層別人口			世帯 (世帯)	世帯人員 (人/世帯)	面積 (ha)	人口密度 (人/ha)
	うち男性 (人)	うち女性 (人)	うち外国人 (人)	年少 (0～14歳)	生産年齢 (15～64歳)	高齢 (65歳～)				
6,686	3,267	3,419	199	861	4,057	1,768	2,841	2.4	114.7	58.3

【人口・世帯数等の推移】(※平成29年4月1日時点)

項目\年次	平成15年	平成20年	平成25年	平成29年	
人口(人)	6,356	6,645	6,700	6,686	
年齢階層別 (人)	年少	980	818	943	861
	生産年齢	4,213	4,233	4,125	4,057
	高齢	1,163	1,394	1,632	1,768
世帯数(世帯)	2,182	2,483	2,678	2,841	



【空家の状況】(※空家は谷田部市街地が含まれる行政区単位での数値)

戸建て住宅世帯数(件)	空家等(件)	空家率(%)	特定空家等候補(件)	地域活動組織
1,451	84	5.8	14	谷田部タウンネット、つくばくらしの会

【地域コミュニティの状況】

【各種地域資源の状況等】

産品等	米、野菜、メロン、スイカ等の農産物、JAつくば市谷田部(直売所)、スドウ酒店、岩田製菓、泥屋木店、つくばチキン、伊賀七福、玉川堂、高野屋商店、肉の池田木店、やたえもん(空き店舗活用)等
自然・場所	川沿いの景観(谷田川、東谷田川)、明徳寺の池、緑多い公園・並木通り、谷田部アリーナ、千歳通り、ふれあい広場、谷田部総合運動公園(野球場、テニスコート)、旅館(ホテルニュー柳屋)等
イベント	納涼祭と餅つき大会(小野川自治会)、谷田部八坂神社夏祭り、早稲刈大会、谷田部運動会(谷田部総合運動公園)、谷田部市街地オータムフェア(千歳通り・ふれあい広場)等
歴史・文化	細川家の城下町、酒屋の五郎、飯沼伊賀七(奥明家)、五兵衛、玉川館(跡地)、道林寺、八幡神社、八坂神社、和泉屋(跡地)、飯王寺薬師堂、広瀬屋白・両堂(熊手者)、愛宕神社、谷田部郷土資料館、明徳寺、善通寺、薬師堂、日馬ヶ池、長徳寺、不動堂木等

※上記は地区別懇話会(平成29年7月に計22回実施)や歩いて発見谷田部マップ(平成29年3月)等の一画です。

事業内容及び結果⑤

市街地カルテデータ集-2

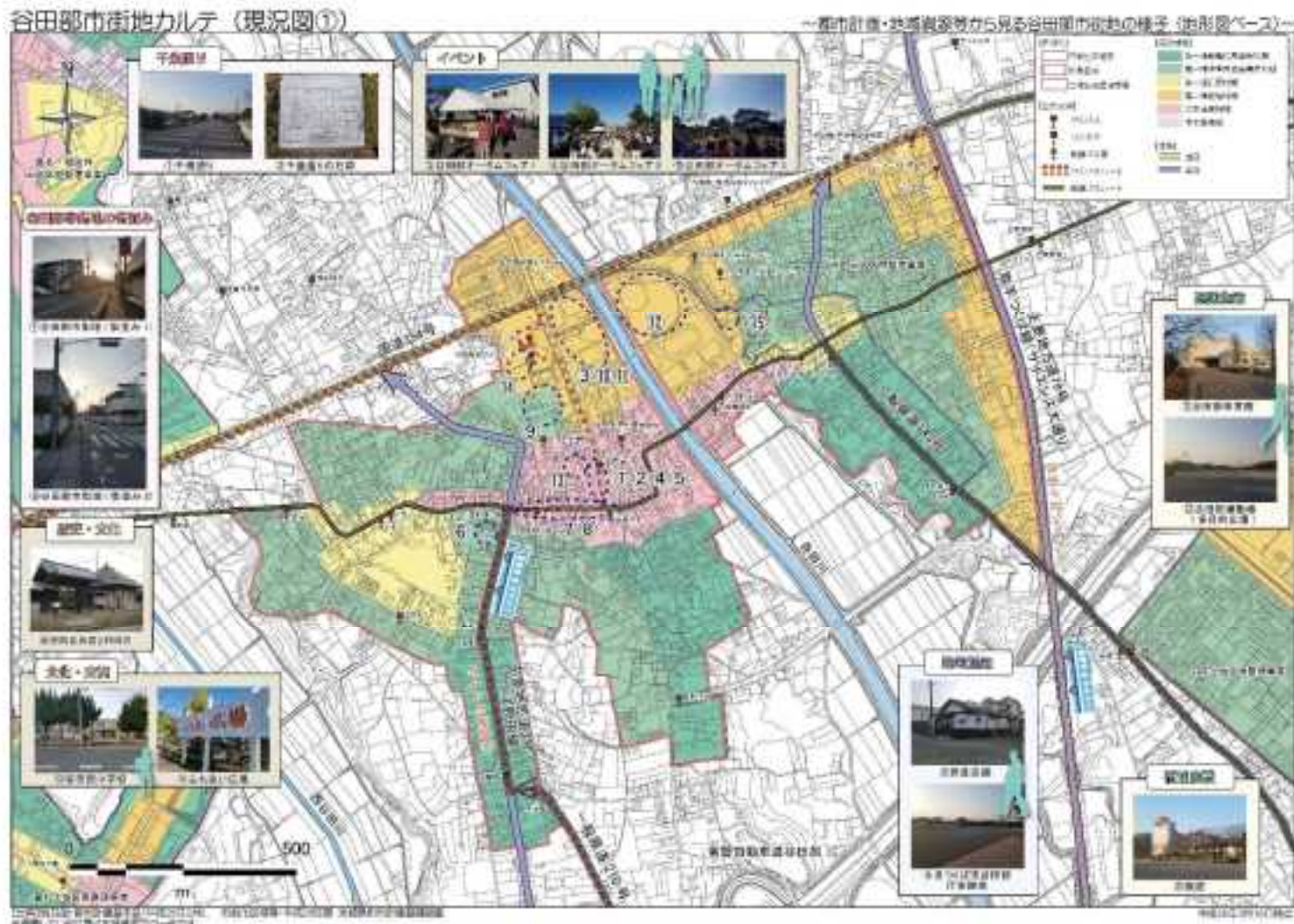
【生活利便施設や公共施設等の状況】（つくば市市街地から500m以内にある施設及び施設の主要な施設）

行政機能	教育施設等			金融	その他
	幼稚園・保育園	小・中学校	児童館・児童クラブ		
<ul style="list-style-type: none"> 谷田部窓口センター 谷田部相談センター 谷田部保健センター 	<ul style="list-style-type: none"> 私立わかば保育園 	<ul style="list-style-type: none"> 谷田部小学校 	<ul style="list-style-type: none"> わいわい児童クラブみどりの 谷田部児童館 	<ul style="list-style-type: none"> 筑波谷田部郵便局 常陸銀行谷田部支店 茨城県信用組合谷田部店 筑波銀行谷田部支店 JAつくば谷田部支店 JAつくば谷田部支店 水戸信用金庫谷田部支店 	
医療・福祉		商業・サービス			
医療関係施設	福祉施設	物販	食品	サービス	
<ul style="list-style-type: none"> みどりのクリニック 大竹薬局 江草こどもクリニック 近賀整形外科・腎臓科 美池内科クリニック サンシャインクリニック 谷田部診療所 ヒロ製薬薬局 桜葉薬局 	<ul style="list-style-type: none"> ここいも谷田部 コンフォートつくばサービス 福祉支援センター谷田部 デイサービス 自然の家 プレメール元気館 サンシャインデイサービスセンター 英水苑 	<ul style="list-style-type: none"> セブンイレブンつくば谷田部 ファミリーマートつくば上城塚店 ウェルシアつくば谷田部店 ファミリーマートつくば谷田部中央店 ケーヨーデイズつくば店 セブンイレブンつくば新谷田 つくばショッピングセンターアッセル セブンイレブン つくば西町店 セックスアップつくばみどりの店 	<ul style="list-style-type: none"> シティマートセックウおまつ 養神食品 肉の辺本店 福徳酒店 中村米穀店 つくば子キン 移居谷田部店 	<ul style="list-style-type: none"> 三菱食品 やたえもん 五川堂 一貫堂食品 （株）すまわ書店 おひさつくば製菓 ワーケーション つくば谷田部店 中央石油販売(株)谷田部セルフSS 福国ロイヤル 	<ul style="list-style-type: none"> つくば中央警察署 谷田部地区文庫 谷田部郷土資料館 県立つくば工科大学高等学校 常盤自動車道谷田部IC つくば市商工会 谷田部支店 五角堂 細川稲荷神社 旅館(ホテルニュー編笠) カスミトレイニングスクール カーブスつくばアッセル
運動施設	交流施設	公共交通			
		つくバス	つくタク	路線バス等	
<ul style="list-style-type: none"> 谷田部総合体育館 谷田部野球場 谷田部多目的広場 谷田部テニスコート 	<ul style="list-style-type: none"> 市民ホールやたべ 谷田部交流センター図書室 谷田部交流センター 	<ul style="list-style-type: none"> 谷田部老人福祉センター アッセル入口 谷田部窓口センター つくば工科大学 	<ul style="list-style-type: none"> 西町住宅 西町 地印町 新町 不動町 谷田部窓口センター 谷田部2ツ角 谷田部小学校 千歳通り 谷田部(高橋福音堂前) 駒形住宅 谷田部坂町 谷田部老人福祉センター 谷田部台町 ファミリーマートと築場店 下台町 聖宮住宅前 福徳酒店 つくば工科大学西 つくば工科大学 谷田部(美池内科クリニック) 谷田部(サンシャインクリニック前) 谷田部(谷田部診療所前) アッセル入口 古町新田 山崎 	<ul style="list-style-type: none"> 西町 新町 谷田部2ツ角 不動町 谷田部中央 谷田部坂町 谷田部台町 下台町 谷田部保健センター前 西町坂下 つくば工科大学 台町新田 山崎 蓮橋場 	

※市街地内にいる施設のみを挙げておりません

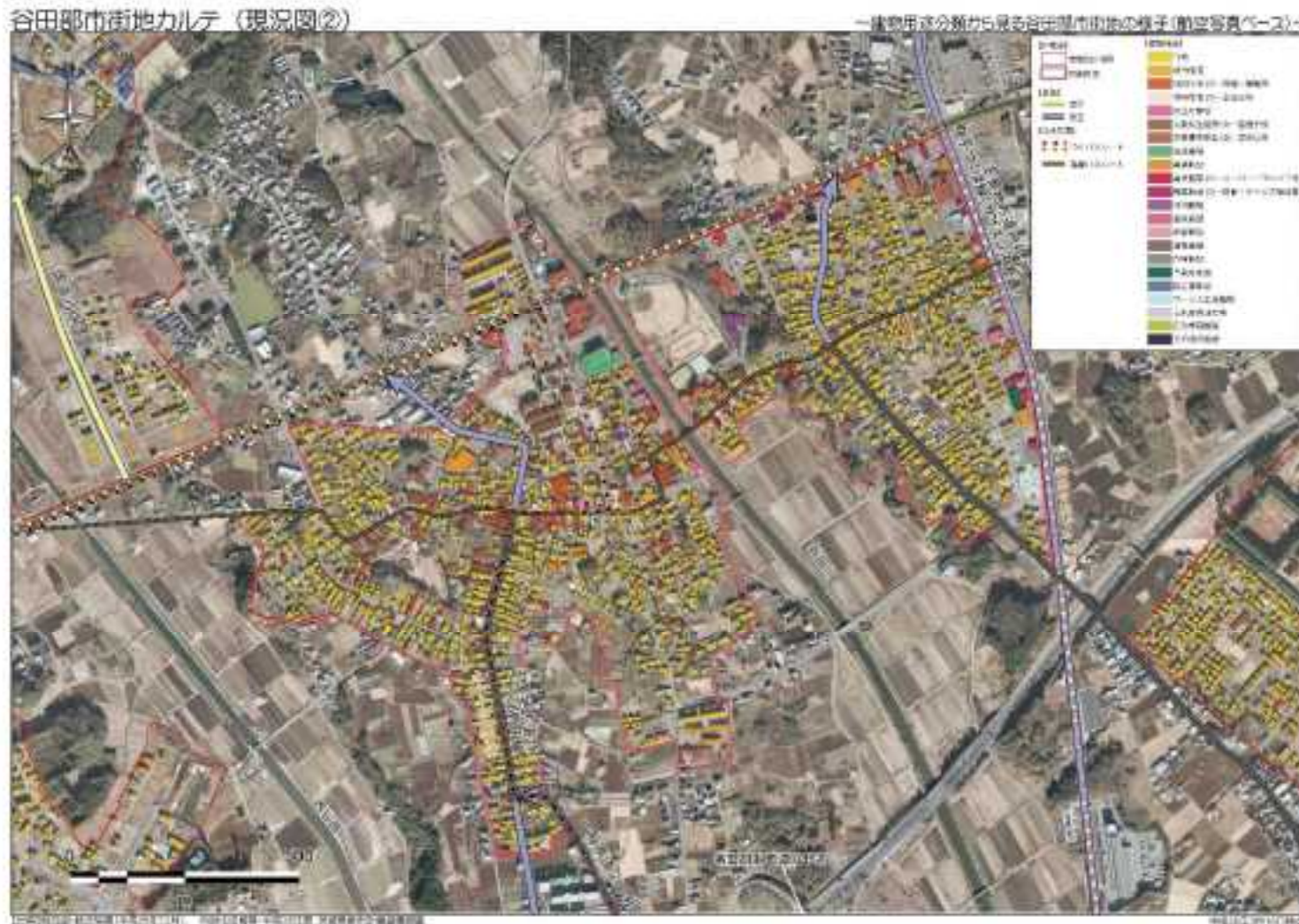
事業内容及び結果⑥

市街地カルテ現況図①



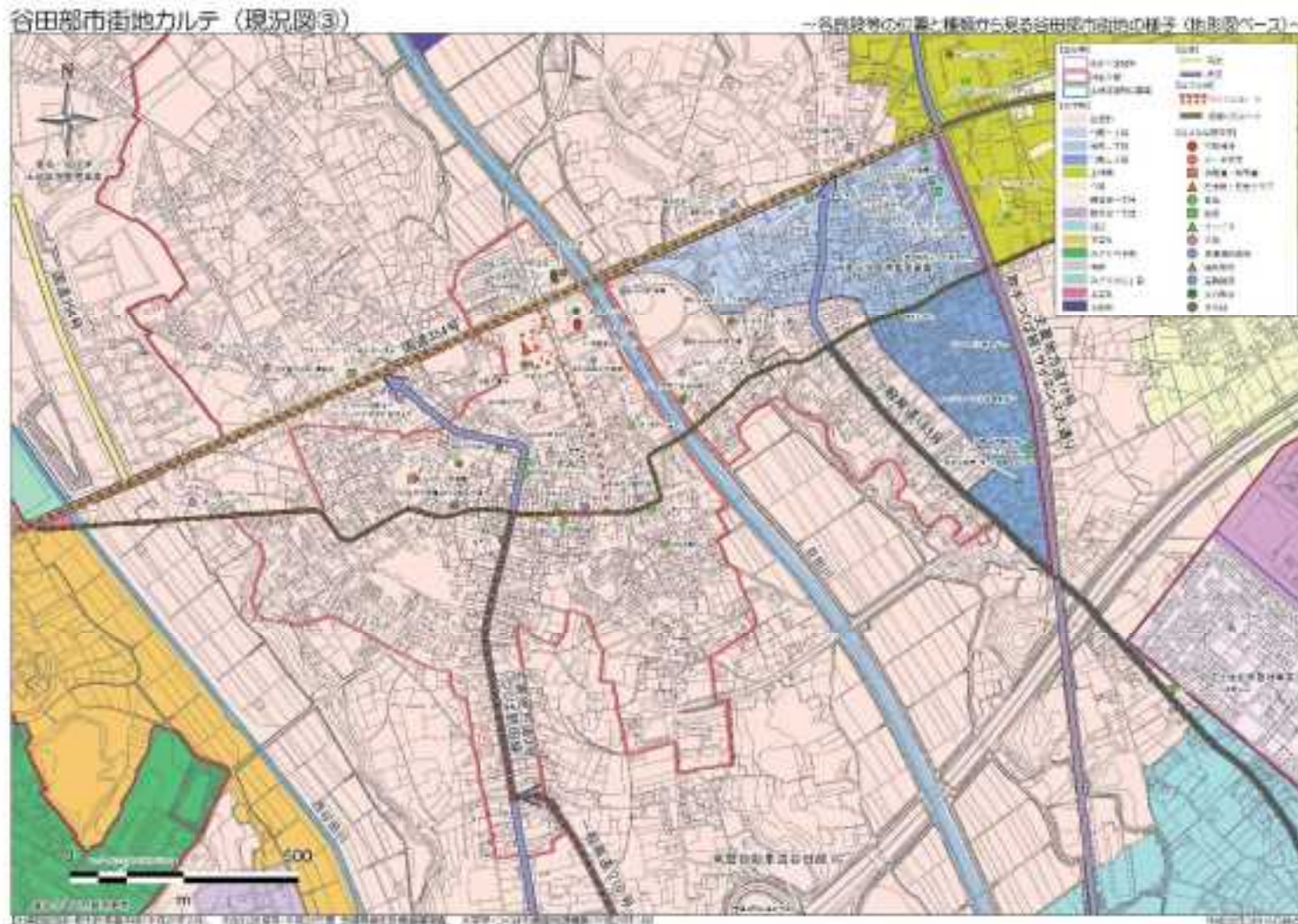
事業内容及び結果⑦

市街地カルテ現況図②



事業内容及び結果⑧

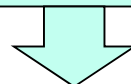
市街地カルテ現況図③



事業成果と今後の展開



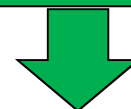
1. 様々な機会を捉えて地域の声を丁寧に傾聴
→市民目線の周辺市街地の現状や課題を把握
2. カルテとして可視化できる形で整理
→今後の地域振興策の立案への活用
3. 周辺市街地振興勉強会の開催
→地域住民の地域に対する関心の高まり。



将来的には地域主体の自立的な取組に繋がることを期待できる。

今後は・・・

- ①域内外の民間企業等のプレイヤーの参画
- ②共創事業の展開に向けた検討・協議の深化
- ③多様な主体との関係性構築支援



地方創生推進交付金を活用

周辺市街地振興をテーマとする勉強会の拡大と深化を図りながら、多様な主体が参画するプラットフォーム構築や具体の地域振興施策検討を進める

H31年度に共創(+外部の力)コンペティションを実施予定

周辺市街地の振興に向けて・・

参考：第3回小田市街地振興勉強会(ワークショップ)



【ワークショップ】

- グループ毎でテーマ(資源・魅力の再発掘・棚卸等)に応じたアイデア出し
- ・話し合う中で出た資源や魅力を付箋に記入する。
- ・資源や魅力(付箋)の該当場所を地図上(市街地カルテ)に貼る。
- ・各グループで発表を行い、アイデア・意見の共有を図る。

【アイデア思考(例)】

○宝篋山登山客の増加→市街地への経済貢献無→滞在型の魅力(民泊等)創出→古民家活用(自然と『現況(課題)共有→原因考察→アイデア抽出→解決策提示』の流れになりました)

地域毎の将来像・地域振興テーマの決定

